

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

地域名

始良市・山田中学校区

人権課題

子どもの人権問題、同和問題、高齢者の人権課題、ハンセン病患者・元患者等の課題等

目標・人権教育
のねらい

全ての教育活動を通して、「自分を大切にしたい気持ち」と「他人の人権を尊重する気持ち」を育み、その具現化のために主体的に行動できる児童・生徒の育成

各組織の動き・役割等

人権教育総合推進会議 → 家庭・地域への啓発の在り方について協議

鹿児島県教育委員会

人権推進委員会→職員・保護者・地域住民の理解促進

始良市教育委員会

始良市立山田中学校：人権課題【同和問題】【高齢者の人権問題】等について、職員が課題別研修会や人権講演会で学び、学んだことを共有し、保護者や地域住民への情報発信を行った。

各小・中学校長

PTA会長

各校区コミュニティ
協議会会長

始良市立山田小学校・北山小学校：人権課題【子どもの人権問題】について学び、子どもの視点に立った授業づくりをテーマに校内研修を行い、子どものわかる授業づくりに努めた。

人権擁護委員

人権推進委員会（研修）を基にした子どもたちの学習、
家庭・地域への啓発

始良市立山田中学校：人権旬間の授業で、同和問題について学習したり、新聞の同和問題特集記事を活用したりして差別により苦しんできた人々の苦労や生き方を実感した。

山田・北山小学校：子どもの声調査を活用し、「学校が楽しい」と回答する児童が増えるように具体的な取組を話し合い実践している。

始良市：人権課題について理解を促すため、始良市のホームページを活用して啓発を行った。

校種間連携の
概要

- ・一貫性のある人権同和教育を推進していくため、山田中学校ブロック別研修会に人権教育分科会を設置し、人権教育に関する9年間を通じた教育課程を編成した。
- ・人権交流学習会を行い、中学生が学んだことを小学生に伝えることにより、知的理解の促進に努めた。

地域・関係機関
との連携の概要

- ・山田中学校ブロックの教職員、保護者、地域住民が講師を招聘しての研修会に参加して、「高齢者の人権問題」というテーマで講話を聞き、理解を深めた。
- ・小学校、中学校、PTA、各校区コミュニティ協議会長、人権擁護委員及び教育委員会等で構成された人権教育総合推進会議において、それぞれの立場で啓発出来ることを協議した。

事業成果

- ・知識的側面：友達と考えや気持ちを伝え合うことを大切にしようとする姿が見られるようになった
- ・価値・態度的側面：自分や他者のよさに気付き、自分や他者のことを大切にしようとする児童生徒が増えてきた。
- ・技能的側面：困っている人がいるときは進んで助けようとする姿が見られるようになった。